



2022  
5月号

No. 194

# 議会だより



平和桜ネックレス

## ■3月定例会

令和4年度予算	P 2
令和4年度各会計当初予算比較表	P 3
質疑・一般質問(12人)	P 3～P 9

## ■1月臨時会・3月定例会

議決結果	P10
賛否表、同意案	P11

## ■政務活動費収支報告、決議案、6月定例会開催予定等

P12



©稲沢市 いなっピー

## 3月定例会開催

3月定例会は3月4日から24日までの21日間の会期で行われました。

市長から条例関係議案7件、法定議決議案3件、予算関係議案13件が提出されました。

提出された議案については、15・16・17日に開催した総務・文教厚生・経済建設の各常任委員会において審査しました。

また、12人の議員が市政全般に対する質疑・一般質問を9・10・11日の3日間で行いました。

(主な質問及び答弁は3～9ページに掲載しています。)

最終日の採決において、すべての議案を原案どおり可決しました。

(議決結果は10ページ、賛否表は11ページに掲載しています。)

## 令和4年度の主な新規（拡充）事業

### 重層的支援体制整備事業

3億2,544万円

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、高齢、障害、子ども、生活困窮の相談・地域づくり関連事業について、一体的かつ重層的に整備する。

### 三世代すまいる支援事業

2,000万円

定住促進支援事業として、三世代同居・隣居のための住宅新築工事に対して補助する。

### 稲沢ライトアップ整備事業

1,000万円

夜間通行時における道路危険箇所を解消するため、交差点や横断歩道に道路照明が整備されていない名鉄国府宮駅周辺等に交通安全灯を14基整備する。

### 保育園ICT化事業

4,580万円

保育士の業務負担の軽減を図り、保育士が働きやすい環境を整備するとともに、保育サービスの向上を図るため、タブレットPCを導入し保育業務のICT化を推進する。

### 申請書作成支援システム導入事業

854万円

市民課及びおくやみコーナーにおいて、運転免許証等の券面情報を自動転記し、申請書の作成をサポートするシステムを導入する。

### 創業経営支援センター「スタートアップいなざわ」運営事業

732万円

アフターコロナを見据え、社会経済環境が大きく変化する中、創業者の支援、事業者の施策利用の相談窓口として、創業経営支援センター「スタートアップいなざわ」を設置する。

### 電子図書館導入事業

510万円

図書館へ来館せずに電子図書(1,000点)を借りられ、障害者サービスとしての活用も期待できる電子図書館システムを導入する。

※万円未満切り捨て

稲沢市議会だより

# 令和4年度各会計当初予算比較表

会計名		区分	本年度予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	比較 (千円)	前年比 (%)
一 般 会 計			46,810,000	45,160,000	1,650,000	103.7
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		12,610,000	12,235,000	375,000	103.1
	介 護 保 険		10,297,000	9,875,000	422,000	104.3
	後 期 高 齢 者 医 療		3,813,000	3,723,000	90,000	102.4
	稲沢西土地区画整理事業		397,000	386,300	10,700	102.8
	小 計		27,117,000	26,219,300	897,700	103.4
企 業 会 計	病 院 事 業		8,834,863	8,183,728	651,135	108.0
	水 道 事 業		5,066,848	4,895,235	171,613	103.5
	公 共 下 水 道 事 業		4,602,781	4,213,586	389,195	109.2
	集 落 排 水 事 業		519,935	409,712	110,223	126.9
	小 計		19,024,427	17,702,261	1,322,166	107.5
合 計			92,951,427	89,081,561	3,869,866	104.3

Q&A 議員の質問  
市の答弁

質疑・一般質問 Q&A

## 国府宮駅付近の 鉄道高架事業について



富田和音議員



**Q** 鉄道高架の事業費は、最新の調査でどれくらい必要だと想定しているか。

**A** 令和元年度の調査で、全長約2.8kmのケースで総事業費は約501億円、その内の約105億円が市負担額になる。

「法」や「踏切道の周辺における迂回路の整備」、また、鉄道事業者による「遮断時間短縮を目的とした踏切遮断機の整備」が考えられる。

**Q** 全国の高架工事の事業費はこの10年で、1.5倍に急増している。仮に30年後の完成を目指した場合、かなり低く見積もっても、市民1人当たりの負担額は、12万4千円となり、5人家族では62万円もの税金を追加徴収しなくてはならない。そして、踏切道の渋滞を解消する対策として、どのような方法があるか。

**A** 踏切道の渋滞を解消する対策として、「踏切道の立体交差化（道路を高架させる方

**Q** 10年以上に及び工事の間、連日の騒音、振動、粉じん、夜間の照明、大型車両や重機の出入り、終電後の深夜時間帯による作業が行われるが、地元住民の方は、それを理解されているか。

**A** これまで鉄道高架に特化した説明会は行っていないが、国府宮駅周辺の再整備やまちづくりの説明会においても、鉄道高架を期待する声が挙がっている。



DV防止対策と稲沢市DV対策  
基本計画について



服部礼美香議員



**Q** DVに悩む人が相談しやすくするためには、どうすれば良いと考えるか。

**A** 自分一人で解決するのではなく、誰かの助けを求めることが大切という考え方を広く周知し、適切な支援策や相談窓口に関する情報を容易に得られるよう、情報発信の強化が必要であると考える。

連絡先一覧に追加し、相談窓口等の周知を行う際には、連絡先を分かりやすく表示するよう工夫に努める。

**Q** 支援措置対象者の情報は適正に管理すべきだが、どう管理をしているか。

**A** 住民記録システムなどには閲覧制限をかけ、住所などには非公開の表示をしている。さらに住民票や戸籍の附票の証明書の交付についても、担当職員の確認がなければ、発行自体ができないなどの対策を講じている。今後は全庁的に定期的な情報提供をすることで、注意喚起を図っていく。

**A** ホームページに「女性に対する暴力の根絶」の専用ページがある。「#80008」や「DV相談+」も早急に



かまどベンチの設置運用基準と  
地域への周知・活用啓発について



平床健一議員



**Q** 「かまどベンチ」の整備について、担当課、設置場所及び数は。

**A** 危機管理課で、小中学校32校の避難所及び、原則4千㎡以上の都市公園に各1基、合計45基。都市整備課で、文化の丘公園に8基、西町公園に1基。子育て支援課で、下起北ちびっこ広場に1基、合計55基設置している。

行政区、自主防災会などが備蓄している物品を使用することになっている。

**Q** かまどベンチ設置の最大の目的は、平時のベンチ機能のみならず、災害時には「かまど」として地域の方々に活用して頂くことである。目の前にあるそのベンチが単なるベンチではないことを知ってもらうために、どのように周知しているか。

**Q** かまどベンチを災害時に使用する際、設置場所付近の防災倉庫の有無で、炊き出し用物品に差が出るが、どのように運用するのか。

**A** 避難所については、防災倉庫に炊き出し等に必要な物品（調理器具、燃料、食器類など）を備蓄している。都市公園などに設置しているかまどベンチは、原則、

**A** 市ホームページでかまどベンチの組み立て方をお知らせしている。また行政区、自主防災会から要望があれば、その都度説明している。



災害時にも活用できる  
かまどベンチ

市民協働や市民による見守り強化について



岡野次男議員



**Q** 職員自らが地域活動に参画し模範となるべきであるがその意識が希薄ではないか。

**A** 市民協働のまちづくりとは、市民、市民団体、企業及び行政が対等で良きパートナーとして役割を分担し、様々な地域課題の解決に取り組むものである。市職員においても、当事者意識を持って主体的に取り組むべきであり、適宜、啓発を行うっていく。

だくよう業務委託の仕様書を改正し、地域の見守りを強化していく。

**Q** スマホを活用し、市民通報の利便性向上を図るべきであるが検討状況は。

**A** 道路の破損については、市職員による道路パトロールや、市民の方からの電話やメールによる通報から情報収集している。手間をかけずに通報できる環境を整備することで、市民の参画につなげていくと考える。現在、スマホを活用した通報手段の導入に向け、先行自治体の調査を進めている。



先進地(岐阜市)の道路の不具合通報入力フォーム

**Q** 業務委託事業者による地域の見守りを強化すべきと考えるがいかがか。

**A** 稲沢駅通路や公園の清掃委託において、日々の業務の中で破損等を発見した際は、業者から報告をいただいているが、一部の情報に限られる。今後、異常な状態を発見した際には連絡をいた

脱炭素社会の実現に向けて



近藤治夫議員



**Q** どのようにカーボンニュートラルを目指すのか。

**A** 市の取り組みとして、2013年度比で22年度から26年度までに31%削減を目標とし、太陽光発電や電動車の導入、建物のZEB化（エネルギーの使用抑制と創出で実質消費量をゼロにする。）を進め、4段階中、上から3段階目のZEB Readyを目指す。また、環境センターの廃棄物発電の電力の有効活用を検討する。

**Q** 第3次環境基本計画を令和5年度にどう見直すか。

**A** 目指す目標を低炭素社会から脱炭素社会に変更する。

**Q** 木や竹、もみ殻などを使うバイオマス発電や、バイオ炭を活用し農業分野でも温室効果ガスの削減に取り組んではどうか。

**A** 令和4年度の二酸化炭素排出抑制対策業務委託事業において、市内の再生可能エネルギーのポテンシャル調査を行い、小水力やバイオマス発電などの可能性を考えていく。

**Q** 市内で生まれている再生可能エネルギーの量は。

**A** 環境省の自治体排出量カルテによると、令和元年度時点で、市内の太陽光発電設備容量の導入状況は、市内電気使用量約99万MWhの内9.4%である。



稲沢市の中小企業支援について



平野賀洋子議員



**Q** 令和4年度の新規事業、創業経営支援センター「スタートアップいなざわ」について、対象者（就業者・学生等）の利便性を考えて、平日の市役所での相談対応ではなく、駅近の商業施設や、土日に開いている公共施設での相談対応をした方が良いのではないか。

**A** 「スタートアップいなざわ」は、創業者の支援、事業者の新規事業展開等の相談窓口として、平日の午前9時から午後4時まで市役所内にセンターを新設する。他の公共施設や商業施設での相談窓口の設置及び休日相談窓口の開設については、関係機関の協力を得て、出張相談を実施していく予定。

**Q** 「中小企業振興基本条例」を制定することで、中小企

**A** 業の育成を積極的に行っていく姿勢を示すことができているが、本市の検討状況は、本市が今後も中小企業支援を継続し、拡充させていく方向性を規定することは、意義あるものと考えている。条例制定に当たっては、市行政のみでなく、商工会議所・商工会、商店街や金融機関、大学・短大などの地域の団体、機関などから幅広く意見をいただき、本市ならではの条例となるよう進めていく。



おくやみコーナーについて



加藤孝秋議員



**Q** 令和3年7月から始まった、おくやみコーナーの利用件数及び利用率は。

**A** 8か月の合計は225件で、利用率は21.0%となっている。

**Q** より多くの方の利用を促すため、おくやみハンドブックの目立つ場所に、おくやみコーナーの案内や申込方法を載せてはどうか。

**A** おくやみコーナーを周知するため掲載するページを変更するなどの改善をしていきたい。

**Q** おくやみコーナーへ予約が入った際の市民課の対応は、利用日時の調整、亡くなられた方と来庁者の住所、氏名、続柄等の確認、手続きに必要な書類などを説明している。

**A** おくやみコーナーへ申し込みをせず、直接各課の窓口に来庁された場合の対応は、おくやみハンドブックなどを活用し、市役所内外で必要だと思われる手続きを案内しており、必要書類の不備や手続き漏れがないよう努めている。

**Q** おくやみコーナーへ申し込みをせず、直接各課の窓口に来庁された場合の対応は、おくやみハンドブックなどを活用し、市役所内外で必要だと思われる手続きを案内しており、必要書類の不備や手続き漏れがないよう努めている。

**A** 今後、サービスの拡充と利便性向上のため、新たな取り組みを行うか。

**Q** 今後、サービスの拡充と利便性向上のため、新たな取り組みを行うか。

**A** ご遺族が多くの申請書などを記入しなければならぬ場合があることから、令和4年度の秋

**A** 頃に、申請書へ自動転記する申請書作成支援システムを導入する。



パブリックコメントについて



杉山太希議員



**Q** 市民の意見を聞く手法の一つであるパブリックコメントの実施件数は。

**A** 平成21年度から令和2年度までの12年間で、手続き数55件、件数1005件、延べ提出人数476人となっている。

**Q** 現行では一部の市民からしか提出されず、意見が反映されにくいと思う。パブリックコメント以外の市民参加の手法も取り入れ、広く意見を聞くべきではないか。

**A** 例えば、「稲沢市公共施設等総合管理計画(改訂案)」では概要版を作成し、理解しやすいよう努めている。今後は、ワークショップ等、市民の皆様の声を直接聞く手続きや、審議会・公聴会等、他の手続きも複合的に実施すると共に、新たな手法も研究するなど、市民と市との協働を推進し、魅力ある本市の実現に近づけるよう取り組んでいく。



**A** 12件の手続きで、329件の意見が提出された。その内5件の手続きで、19件の意見を取り入れ、割合としては5.8%となる。事例として、「投票区・投票所再編(案)」の中で、既存の小学校区を基準としていたところ、一部地域では、地域の実情に合わせた区割りに変更した。

稲沢市の孤育て(孤育)を防ぐ対策について



北村太郎議員



**Q** 孤独の「孤」を子育ての「子」と置き換えて「孤育(こいく)」と呼ばれている。相談相手もなく、ひとりで悩みを抱える方は多い。気軽に安心して相談できるところがたくさんあると良いと思うがどうか。

**A** 支援が必要な方には、妊娠期から育児期を通じて、保健師による訪問や電話等、一人一人に合った方法で支援を行っている。また、他市町村からの転入者についても自治体間で連携し、窓口での手続きの際、様々な機会を捉えて、地区担当保健師につなぐなど、支援が途切れないようにしている。そのほか、医療機関から必要に応じて情報提供を受けることがあり、保健師が早急に対応することもある。本市では、育児の孤立化を

防ぐために、各関係機関が連携を密にして、支援に努めている。

その他の相談先として、中央子育て支援センター内にある子育て相談室「なのはな」では、18歳までのお子さんについての、子育て等に関する様々な相談に対応している。また、子育て相談事業として、市の子育て支援センター、保育園、児童センターで、電話や来所による相談にも対応している。気軽な相談の場として活用していただきたい。



新型コロナウイルス感染症第6波の子どもたちへの影響と対策について



曾我部博隆議員



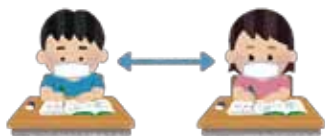
**Q** 新型コロナウイルス感染症の第6波による、保育園、小中学校への影響は。

**A** 公私立保育園、認定こども園及び小規模保育事業所においては、3月3日の時点で、196人の園児が感染し、11園で11クラスを閉鎖し、5園で休園措置をとった。小中学校においては、3月4日の時点で、616人の児童生徒が感染し、14校で27学級を閉鎖、3学年の学年閉鎖を実施した。

**Q** 第6波では、ワクチン接種を受けていない子どもに感染が拡大し、爆発的に増えたと推測される。感染拡大を防ぐために、保育園や小中学校ではどのような対策をとってきたか。

**A** 保育園等では食事をとる際、子どもたちと保育士の部屋

を分け、一定方向を向き、黙食を徹底するなどしている。また、大人数での活動を避け、登園の自粛も要請している。感染が判明した場合には、一斉メールを配信し、早急な降園を依頼するとともに、自宅待機やクラス閉鎖で拡大を最小限にとどめる努力をしている。各学校では、基本的な感染予防対策の徹底のほか、家族が陽性や濃厚接触者になったり、風邪症状があるときも、登校を控えるよう、機会をとらえて依頼を行っている。



市民病院のビジョンについて



星野俊次議員



**Q** 稲沢市民病院改革プランに代わるプランの策定状況は。

**A** 公立病院には、総務省のガイドラインに基づき、令和4年度または令和5年度中に「経営強化プラン」の策定が求められている。地域医療構想の実現や地域包括システムの構築に向けて果たすべき役割を踏まえ、地域の医療機関との連携施策を盛り込んだプランを策定していきたいと考えている。

**Q** 許可病床（42床）の返還に伴う市民病院への影響と対応は。

**A** 返還に伴い、4階北病棟と南病棟を一体的に利用することで「転倒骨折センター」を令和4年5月に開設する計画を進めている。リハビリや栄養相談などをしやすくするため病室を改修し、

稼働病床を増やすことで、年間4千700万円程の収益増を見込んでいる。

**Q** 病院事業管理者の今後の市民病院のビジョンは。

**A** 当院の果たすべき使命は、まずは、尾張西部医療圏で、稲沢市域における急性期医療を担うこと。そして、今後の超高齢社会において、回復期の機能も果たしていくことである。医師の確保に力を尽くし明確なビジョンのもと、病院機能の充実に努め、

今後も地域に信頼される病院を目指し、職員一丸となり取り組んでいく。



稲沢市民病院



本市の交通事業について



朽本敏子議員



**Q** 令和2・3年度の夏休みに、市内小学生にコミュニティバスの無料体験乗車を配布したが、かなりの利用があったため、春休み等にも開催できないか。

**A** 運行事業者と調整の上、春休み・冬休みは、短期間に利用が集中するため、配布を夏休みに限定している。まずは、バス運行に興味を持っていただくため、夏休みの配布は継続する。

**Q** 免許証を返納した申請者にコミュニティバス無料券を24枚配付しているが、実際は平均7枚しか使用していない。利用したいと思うコミュニティバスにするため、今後の考えは。

**A** アンケートの結果をもとに、主要な鉄道駅や量販店、病院などを短い路線で結んで

便数を増やし、主要拠点に接続便ができる様、路線を再編し利便性向上に努める。

**Q** おでかけタクシー利用客のピーク予想と市負担額の試算は。また、事業を継続するため、推移も試算し、財政面も含めて計画を立てるべきだと思うが、考えは。

**A** ピークは団塊世代が75歳を迎える令和7年から数年以内と予想しており、1日200件の利用で市負担額は3千800万円と推定する。また、コミュニティバス、おでかけタクシーの利用状況を勘案し、本市に適した交通ネットワークを構築していく。

おでかけタクシー利用客のピーク予想と市負担額の試算は。また、事業を継続するため、推移も試算し、財政面も含めて計画を立てるべきだと思うが、考えは。

ピークは団塊世代が75歳を迎える令和7年から数年以内と予想しており、1日200件の利用で市負担額は3千800万円と推定する。また、コミュニティバス、おでかけタクシーの利用状況を勘案し、本市に適した交通ネットワークを構築していく。

ピークは団塊世代が75歳を迎える令和7年から数年以内と予想しており、1日200件の利用で市負担額は3千800万円と推定する。また、コミュニティバス、おでかけタクシーの利用状況を勘案し、本市に適した交通ネットワークを構築していく。

ピークは団塊世代が75歳を迎える令和7年から数年以内と予想しており、1日200件の利用で市負担額は3千800万円と推定する。また、コミュニティバス、おでかけタクシーの利用状況を勘案し、本市に適した交通ネットワークを構築していく。

ピークは団塊世代が75歳を迎える令和7年から数年以内と予想しており、1日200件の利用で市負担額は3千800万円と推定する。また、コミュニティバス、おでかけタクシーの利用状況を勘案し、本市に適した交通ネットワークを構築していく。



コミュニティバス

会議録を  
ご覧いただけます。

稲沢市議会本会議の内容は、会議録として作成し、市立図書館や各地区市民センターの図書室に配布し、皆さんに読んでいただけるようにしています。

この議会だよりに掲載している令和4年3月定例会の会議録は、5月下旬に配布できる予定です。

二次元コードから  
本会議の録画映像を  
ご覧いただけます。

本会議録画映像、会議録は、市のホームページからもご覧いただけます。

また、スマートフォン等でも視聴できます。

本会議録画映像については、二次元コードを読み取り、ご覧いただくこともできます。

稲沢市議会ホームページ  
トップページ



議会会議録検索をクリック



本会議録画映像をクリックもしくは上の二次元コードを読み取ってください



# 1 月 臨 時 会 ・ 3 月 定 例 会 議 決 結 果

議案番号	件 名	議決結果	
議案第 1号	令和3年度稲沢市一般会計補正予算 (第9号)	全員賛成	可決
議案第 2号	稲沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 3号	稲沢市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	賛成多数	可決
議案第 4号	稲沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成多数	可決
議案第 5号	稲沢市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 6号	稲沢市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 7号	稲沢市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 8号	稲沢市消防団条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 9号	損害賠償の額を定めることについて	全員賛成	可決
議案第10号	稲沢市道路線の廃止について	全員賛成	可決
議案第11号	稲沢市道路線の認定について	全員賛成	可決
議案第12号	令和4年度稲沢市一般会計予算	賛成多数	可決
議案第13号	令和4年度稲沢市国民健康保険特別会計予算	賛成多数	可決
議案第14号	令和4年度稲沢市介護保険特別会計予算	賛成多数	可決
議案第15号	令和4年度稲沢市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	可決
議案第16号	令和4年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計予算	全員賛成	可決
議案第17号	令和4年度稲沢市病院事業会計予算	全員賛成	可決
議案第18号	令和4年度稲沢市水道事業会計予算	全員賛成	可決
議案第19号	令和4年度稲沢市公共下水道事業会計予算	全員賛成	可決
議案第20号	令和4年度稲沢市集落排水事業会計予算	全員賛成	可決
議案第21号	令和3年度稲沢市一般会計補正予算 (第10号)	全員賛成	可決
議案第22号	令和3年度稲沢市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	全員賛成	可決
議案第23号	令和3年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計補正予算 (第2号)	全員賛成	可決
議案第24号	令和3年度稲沢市病院事業会計補正予算 (第3号)	全員賛成	可決

(報告)

報告第 1号	専決処分の報告について
--------	-------------

(同意案)

同意案第1号	稲沢市名誉市民の推挙について	全員賛成	同意
同意案第2号	人権擁護委員の推薦について	全員賛成	同意
同意案第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	全員賛成	同意

(決議案)

決議案第1号	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議	全員賛成	可決
--------	----------------------	------	----

(請願)

請願第 1号	県立高校統廃合について意見書の採択を求める請願	賛成少数	不採択
--------	-------------------------	------	-----

稲沢市議会だより

# 3月定例会賛否表

議員名 議案番号	杉山太希	平野賀洋子	北村太郎	黒田哲生	近藤治夫	津田敏樹	服部礼美香	大津丈敏	加藤孝秋	岡野次男	富田和音	志智央	木全信明	東野靖道	吉川隆之	木村喜信	網倉信太郎	長屋宗正	服部猛	出口勝実	六鹿順二	朽本敏子	平床健一	星野俊次	曾我部博隆
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
請願第1号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○

※ 全員が賛成した議案は記載を省略しています。  
 ※ 服部猛議員は議長のため採決には加わりません。

(○は賛成、●は反対)

## 同意案

次の方々の推薦、選任に同意しました。

### ○人権擁護委員

加賀 鐘三氏

(奥田町・再任)

今井 信幸氏

(平和町西光坊海道東・再任)

### ○固定資産評価委員会委員

倉見 輝男氏

(平細工蔵町・再任)

寺澤 誠氏

(陸田一里山町・再任)

佐治 太一氏

(北島町上中・新任)



## 1月臨時会開催

1月臨時会を、1月21日に開催しました。

## 一般会計補正予算

一般会計補正予算(第9号)は、14億6770万円の増額となり、歳出の内容は次のとおりです。

### ○民生費

住民税非課税世帯等臨時特別支援事業  
12億3600万円

子育て世帯等臨時特別支援事業(市単独給付)  
2億2160万円

大里東第2児童クラブ整備事業  
1010万円

※万円未満切り捨て

# 令和3年度 政務活動費収支報告

(単位:円)

	創生会	市民クラブ	公明党 稲沢市議団	曾我部博隆	平床健一	野々部尚昭 (R4.3.2まで)
交付額	3,840,000	1,200,000	480,000	240,000	240,000	240,000
研修費		15,660	22,660			
広報費	989,978	534,050		115,550		
資料作成費				1,027		
資料購入費	88,200	95,290	49,060	35,010	33,000	57,390
合計	1,078,178	645,000	71,720	151,587	33,000	57,390
残(返還)額	2,761,822	555,000	408,280	88,413	207,000	182,610

※所属議員に対し、月額2万円を交付しています  
※残余分については、市へ返還しています

編集／広報広聴委員会

## 決議案

次の議案について、審議した結果、全会一致で可決しました。

**決議案第1号** ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

### 全文

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

ロシアは国際社会の度重なる警告を無視し、2月24日にウクライナへの軍事侵攻を開始した。この行為は、国際社会の平和と安全を脅かす断じて許すことのできない暴挙であり、厳重に抗議するものである。

よって稲沢市議会は、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア政府に対し、軍事侵攻の即時停止と軍の完全撤退を強く求めるものである。以上、決議する。

令和4年3月10日

稲沢市議会

## 議員研修会を開催

2月25日に「タブレット端末(電子会議システム)を活用した議会運営及び議員活動について」をテーマに議員研修会を開催しました。

今後は、議会改革推進特別委員会を中心に議会のICT化を推進してまいります。



## 表彰

愛知県市議会議長会定期総会(書面会議)において、木村喜信前議長、大津丈敏前副議長に感謝状が贈呈されました。



大津丈敏  
前副議長



木村喜信  
前議長

発行／稲沢市議会

## 議会事務局

電話(直通)  
(0587)  
32-1459

FAX  
(0587)  
32-1124

※日程は変更する場合があります。  
また、傍聴については、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、自粛をお願いすることがあります。  
詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

6月  
9日(木) 開会  
14日(火) 質疑・一般質問  
15日(水) 質疑・一般質問  
16日(木) 質疑・一般質問  
17日(金) 質疑・一般質問予備日  
20日(月) 総務委員会  
21日(火) 文教厚生委員会  
22日(水) 経済建設委員会  
23日(木) 委員会予備日  
24日(金) 議会運営委員会  
27日(月) 閉会

**6月定例会開催予定**  
本会議は、市役所3階の議場で午前9時30分から始まります。  
次回開催の6月定例会会期日程(案)をご案内します。

